15－4　買掛金元帳

【重要性：A】

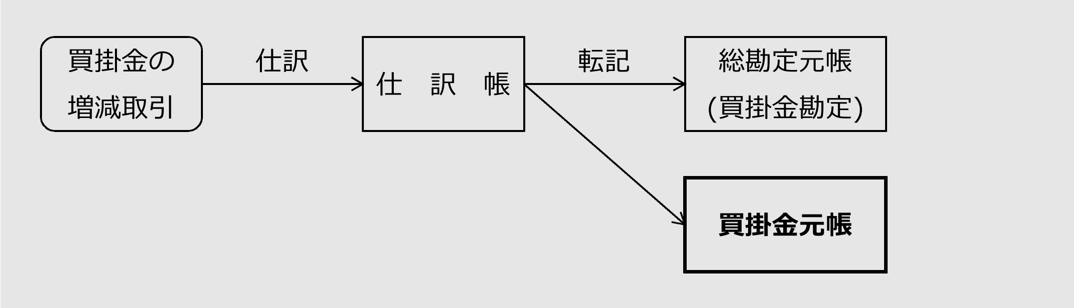
ＰＯＩＮＴ！

①　買掛金元帳の記入のルールを覚えよう！

②　買掛金元帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

③　総勘定元帳（「買掛金」勘定）との関係に注意しよう！

仕入先ごとの買掛金の明細を記録するための補助簿（補助元帳）を、**買掛金元帳**（**仕入先元帳**という場合もあります）といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、仕入先別の買掛金に関する取引が仕入先別の買掛金元帳に記帳されます。この際、取引先の商店名や会社名をつけた勘定を設定しますので、これを**人名勘定**といいます。



買掛金元帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄には、取引の内容を簡潔に記入します。

③ 貸方欄には、買掛金の増加取引を記入します。また、借方欄には買掛金の減少取引を記入します。残高欄には、取引後の残高を記入します。また、「借または貸」欄には残高が貸方残高の場合には「貸」を、残高が借方残高の場合には「借」と記入します（通常は、貸方残高となります）。

④ 月初には摘要欄に「前月繰越」と記入し、月初残高を貸方欄と残高欄に記入します。また、月末には摘要欄に「次月繰越」と記入し、月末残高を借方欄に記入します（赤字で記入（朱記）します）。

⑤ 借方欄と貸方欄の合計金額を記入し（両者は一致します）、二重線（締切線ともいいます）を引いて締め切ります。

買　掛　金　元　帳

××商店

日	付	摘　　要	借　方	貸　方	借または貸	残　高
?	?	前月繰越		×××	貸	×××
	?	掛け仕入		×××	〃	×××
	?	掛け戻し	×××		〃	×××
	?	次月繰越	×××			
			×××	×××		
?	?	前月繰越		×××	〃	×××

例題15－４　**次の取引について、買掛金元帳（Ａ商店）に記入し、締め切りなさい。**

７月５日　Ａ商店から商品24,000円を仕入れ、代金は掛けとした。

11日　7月５日に仕入れた商品の一部をＡ商店へ返品した。なお、この代金3,000円は買掛金が減額された。

買　掛　金　元　帳

Ａ　商　店

日	付	摘　　要	借　方	貸　方	借または貸	残　高
7	1	前月繰越		40,000	貸	40,000
	5	掛け仕入		24,000	〃	64,000
	11	掛け戻し	3,000		〃	61,000
	31	次月繰越	61,000			
			64,000	64,000		

仮に、上記買掛金元帳（Ａ商店）が問題に与えられた場合、この買掛金元帳（Ａ商店）から読み取れる７月の取引に関する仕訳は以下のとおりです。

日付	借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
7／5	仕　　入	24,000	買　掛　金	24,000
11	買　掛　金	3,000	仕　　入	3,000

また、仮に、上記買掛金元帳（Ａ商店）が問題に与えられた場合、この買掛金元帳（Ａ商店）から読み取れる７月の取引に関する「買掛金」勘定の記入は以下のとおりです。

買　掛　金

日	付	摘　　要	仕丁	借　方	日	付	摘　　要	仕丁	貸　方
7	11	仕　　入	省略	3,000	7	5	仕　　入	省略	24,000

15－5　売上帳

【重要性：A】

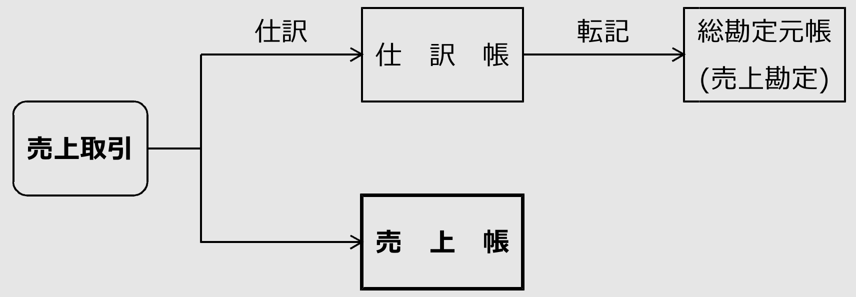
ＰＯＩＮＴ！

①　売上帳の記入のルールを覚えよう！

②　売上帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

③　総勘定元帳（「売上」勘定）との関係に注意しよう！

商品の売上に関する明細を記録するための補助簿（ほじょぼ）（補助記入帳（ほじょきにゅうちょう））を、**売上帳**（うりあげちょう）といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、売上に関する取引が売上帳に記帳されます。



売上帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄（てきようらん）には、取引の内容（得意先（とくいさき）、商品名、数量、単価、支払条件など）を簡潔に記入します。

③ 複数の商品を売り上げた場合には、商品ごとに内訳欄に金額を記入し、合計金額を金額欄に記入します。

④ 売上戻りや売上値引は赤字で記入（朱記（しゅき））します。

⑤ 月末に総売上高（売上戻り・値引控除前の売上高）、売上値引・戻り高（赤字で記入（朱記）します）、純売上高（総売上高から売上値引・戻り高を控除した純額）を記入します。

売　上　帳

日	付	摘	要	内　訳	金　額
?	?	? 店	当座預金		
		商品甲	? 個　@ ?		×××
	?	? 商店	掛け		
		商品乙	? 個　@ ?	×××	
		商品丙	? 個　@ ?	×××	×××
	?	? 商店	掛け戻り		
		商品丙	? 個　@ ?		×××
	?		総売上高		×××
	〃		売上戻り高		×××
			純売上高		×××

例題15－５　**次の取引について、売上帳に記入し、締め切りなさい。**

６月７日　Ｂ商店へ商品甲を16,000円（200個、@80円）で販売し、代金は当座預金に振り込まれた。

17日　Ｄ商店へ商品乙を2,400円（20個、@120円）で、商品丙を10,000円（40個、@250円）で販売し、代金は掛けとした。

20日　６月17日にＤ商店へ販売した商品丙が４個返品され、この代金は売掛金を1,000円減額した。

売　　上　　帳

日	付	摘　　要	内　　訳	金　　額
6	7	B商店　　当座預金		
		商品甲　　200個　　@80		16,000
	17	D商店　　掛け		
		商品乙　　20個　　@120	2,400	
		商品丙　　40個　　@250	10,000	12,400
	20	D商店　　掛け戻り		
		商品丙　　4個　　@250		1,000
	30	総売上高		28,400
	〃	売上戻り高		1,000
		純売上高		27,400

仮に、上記売上帳が問題に与えられた場合、この売上帳から読み取れる６月の取引に関する仕訳は以下のとおりです。

日付	借方科目	金　　額	貸方科目	金　　額
6／7	当座預金	16,000	売上	16,000
17	売掛金	12,400	売上	12,400
20	売上	1,000	売掛金	1,000

また、仮に、上記売上帳が問題に与えられた場合、この売上帳から読み取れる６月の取引に関する「売上」勘定の記入は以下のとおりです。

売　　上

日	付	摘　　要	仕丁	借　方	日	付	摘　　要	仕丁	貸　方
6	20	売掛金	省	1,000	6	7	当座預金	省	16,000
			略			17	売掛金	略	12,400

15－６　仕入帳

【重要性：A】

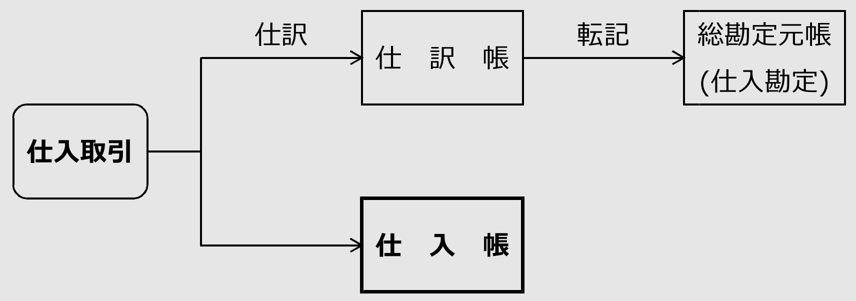
ＰＯＩＮＴ！

①　仕入帳の記入のルールを覚えよう！

②　仕入帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

③　総勘定元帳（「仕入」勘定）との関係に注意しよう！

商品の仕入に関する明細を記録するための補助簿（補助記入帳）を、**仕入帳**といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、仕入に関する取引が仕入帳に記帳されます。



仕入帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄には、取引の内容（仕入先、商品名、数量、単価、支払条件など）を簡潔に記入します。

③ 複数の商品を仕入れた場合には、商品ごとに内訳欄に金額を記入し、合計金額を金額欄に記入します。

④ 仕入戻しや仕入値引は赤字で記入（朱記）します。

⑤ 月末に総仕入高（仕入戻し・値引控除前の仕入高）、仕入値引・戻し高（赤字で記入（朱記）します）、純仕入高（総仕入高から仕入値引・戻し高を控除した純額）を記入します。

仕　　入　　帳

日付		摘要		内訳	金額
?	?	? 商店	当座預金		
		商品甲	? 個　@ ?		×××
	?	? 商店	掛け		
		商品乙	? 個　@ ?	×××	
		商品丙	? 個　@ ?	×××	×××
	?	? 商店	掛け戻し		
		商品丙	? 個　@ ?		×××
	?		総仕入高		×××
	〃		仕入戻し高		×××
			純仕入高		×××

例題15－6　次の取引について、仕入帳に記入し、締め切りなさい。

5月7日　Ａ商店から商品甲を5,000円（100個、@50円）で仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

17日　Ｃ商店から商品乙を1,000円（10個、@100円）で、商品丙を6,000円（30個、@200円）で仕入れ、代金は掛けとした。

20日　５月17日にＣ商店から仕入れた商品丙を４個返品し、この代金は買掛金を800円減額された。

仕　　入　　帳

日	付	摘　　要	内　　訳	金　　額
5	7	A商店　　当座預金		
		商品甲　　100個　　@50		5,000
	17	C商店　　掛け		
		商品乙　　10個　　@100	1,000	
		商品丙　　30個　　@200	6,000	7,000
	20	C商店　　掛け戻し		
		商品丙　　4個　　@200		800
	31	総仕入高		12,000
	〃	仕入戻し高		800
		純仕入高		11,200

仮に、上記仕入帳が問題に与えられた場合、この仕入帳から読み取れる５月の取引に関する仕訳は以下のとおりです。

日付	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
5／7	仕　入	5,000	当座預金	5,000
17	仕　入	7,000	買掛金	7,000
20	買掛金	800	仕　入	800

また、仮に、上記仕入帳が問題に与えられた場合、この仕入帳から読み取れる５月の取引に関する「仕入」勘定の記入は以下のとおりです。

仕　　入

日	付	摘　要	仕丁	借　方	日	付	摘　要	仕丁	貸　方
5	7	当座預金	省	5,000	5	20	買掛金	省	800
	17	買掛金	略	7,000				略	

第15章　帳簿の記入①　問題

問題15-1　**以下の取引と仕入帳にもとづき、買掛金元帳（B商店）の記入を行いなさい。なお、当店では月末に補助簿の締切を行っている。**

5月2日　B商店に対する買掛金8,000円について小切手を振り出して支払った。
7日　A商店に対する買掛金5,000円を現金にて支払った。
11日　A商店に対する買掛金1,800円について小切手を振り出して支払った。
12日　B商店に対する買掛金12,000円を支払うために、約束手形を振り出した。
17日　B商店に対する買掛金17,000円を支払うために、所有していた得意先振出約束手形を裏書譲渡した。

仕　入　帳

日	付	摘　要	内　訳	金　額
5	3	A商店　掛け		
		商品甲　150個　@50		7,500
	5	B商店　掛け		
		商品乙　20個　@100		2,000
	11	A商店　掛け		
		商品甲　100個　@50		5,000
	18	B商店　掛け		
		商品乙　30個　@100	3,000	
		商品丙　30個　@120	3,600	6,600
	20	B商店　掛け戻し		
		商品丙　5個　@120		600
	31	総仕入高		21,100
	〃	仕入値引・戻し高		600
		純仕入高		20,500

問題15-2 **以下の取引と売上帳にもとづき、売掛金元帳（A商店）の記入を行いなさい。なお、当店では月末に補助簿の締切を行っている。**

7月2日　B商店に対する売掛金10,000円を現金で回収した。
6日　A商店に対する売掛金15,000円をA商店振出小切手で回収した。
11日　A商店に対する売掛金の決済として、A商店振出約束手形21,000円を受け取った。
17日　B商店に対する売掛金12,000円の回収として当座預金に振り込まれた。
23日　A商店に対する売掛金17,000円の回収として、X商店振出約束手形を裏書譲渡された。

売　　上　　帳

日	付	摘　　要			内　　訳	金　　額
7	7	A商店	掛け			
		商品甲	300個	@80		24,000
	9	B商店	掛け			
		商品乙	100個	@120		12,000
	18	A商店	掛け			
		商品甲	400個	@80		32,000
	19	B商店	掛け			
		商品乙	30個	@120	3,600	
		商品丙	60個	@250	15,000	18,600
	20	A商店	掛け戻し			
		商品甲	5個	@80		400
	31		総売上高			86,600
	〃		売上値引・戻り高			400
			純売上高			86,200

第15章　帳簿の記入①　答案用紙

問題15-1

買 掛 金 元 帳

B 商 店

日付		摘要	借方	貸方	借または貸	残高
5	1	前月繰越		80,000	貸	80,000
	31	次月繰越				
6	1	前月繰越			貸	

問題15-2

売 掛 金 元 帳

A 商 店

日付		摘要	借方	貸方	借または貸	残高
7	1	前月繰越	40,000		借	40,000
8	1	前月繰越			借	

第15章　帳簿の記入①　解答解説

問題15-1　**解答**

買　掛　金　元　帳

B　商　店

日付		摘　　要	借　方	貸　方	借または貸	残　高
5	1	前月繰越		80,000	貸	80,000
	2	小切手振り出し	8,000		〃	72,000
	5	掛け仕入		2,000	〃	74,000
	12	約束手形振り出し	12,000		〃	62,000
	17	手形の裏書譲渡	17,000		〃	45,000
	18	掛け仕入		6,600	〃	51,600
	20	掛け戻し	600		〃	51,000
	31	次月繰越	51,000			
			88,600	88,600		
6	1	前月繰越		51,000	貸	

問題15-1　**解説**

　買掛金元帳（B商店）の記入が求められているので、5月の取引および仕入帳で関連する仕訳は以下のとおりです。これをもとに買掛金元帳（B商店）の記入を行って下さい。

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
5/2	買掛金（B商店）	8,000	当座預金	8,000
5	仕入	2,000	買掛金（B商店）	2,000
12	買掛金（B商店）	12,000	支払手形	12,000
17	買掛金（B商店）	17,000	受取手形	17,000
18	仕入	6,600	買掛金（B商店）	6,600
20	買掛金（B商店）	600	仕入	600

問題15-2 **解答**

売 掛 金 元 帳

A 商 店

日付		摘要	借方	貸方	借または貸	残高
7	1	前月繰越	40,000		借	40,000
	6	小切手による回収		15,000	〃	25,000
	7	掛け売上	24,000		〃	49,000
	11	約束手形による回収		21,000	〃	28,000
	18	掛け売上	32,000		〃	60,000
	20	掛け戻り		400	〃	59,600
	23	約束手形による回収		17,000	〃	42,600
	31	次月繰越		42,600		
			96,000	96,000		
8	1	前月繰越	42,600		借	42,600

問題15-2 **解説**

売掛金元帳（A商店）の記入が求められているので、7月の取引および売上帳で関連する仕訳は以下のとおりです。これをもとに売掛金元帳（A商店）の記入を行って下さい。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
7/6	現金	15,000	売掛金（A商店）	15,000
7	売掛金（A商店）	24,000	売上	24,000
11	受取手形	21,000	売掛金（A商店）	21,000
18	売掛金（A商店）	32,000	売上	32,000
20	売上	400	売掛金（A商店）	400
23	受取手形	17,000	売掛金（A商店）	17,000